

No.889(二〇〇四年一月一・二日合併号)から  
No.921(二〇〇四年一月二一日)まで

No.889 (二〇〇四年一月一・二日合併号)

滝野 忠

◇巻頭言◇大政翼賛政治の昔と今 社会通信八八八号

◇資料1◇入学式、卒業式等における国旗掲揚及び国歌斉唱の実施について(通達)

◇資料2◇入学式、卒業式等における国旗掲揚及び国歌斉唱に関する実施指針

◇資料3◇職務命令書

日本経団連、年金保険料率引き上げで緊急集会

―連合は経団連と共闘―

編集部・

現代世界の転換点とは

―現代情勢の特徴について(一)―

イラクへ派兵断念し、「非戦日本」再構築を

ベア論外、「ベースダウン」にも言及

―日本経団連「経営労働政策委員会報告」から―

小西 純一郎

政治における私たちの課題

―平和憲法が最大の危機に―

最高裁判決と国鉄闘争のゆくえ

労働組合強化の戦略・戦術

―政労資のパートナーシップの深まりの中で―

伊勢 太郎

読者からのおたより

No.890 (二〇〇四年一月二一日)

滝野 忠

◇巻頭言◇「和」の政治だって?

―私鉄労働運動を取り巻く情勢と課題―

―四単産「合同・統合」をめぐる―

―全通からJPUへ―全通臨時大会(十二月)から―

―企業献金と経営労働政策報告から―

◇資料1 企業の自発的政治寄付に関する申し合わせ(日本経団連)

◇資料2 第二次小泉内閣に対する緊急提言(21世紀臨調)

パンフ・好評発売中! 『福祉医療の現状と課題』

―老人、乳幼児、重度心身障害者、母子家庭等医療制度の充実のために―

臨時大会に向けて「組合費改定」

―ユニオン会計の現状と専従設置の可能性― 神戸ワーカーズ・ユニオン

読者からのおたより

No. 891 (二〇〇四年二月一日)

◇巻頭言◇ 「官」「民」分断 — いまなぜ、どんな労働組合か再び、労働組合強化の戦略・戦術について

憲法改悪阻止にむけた運動体としての発展を！

9プラス25改憲阻止市民の会

「公」と「私」の教育「闘技場」はいずこへ

六津 五郎

浮島丸事件 — 日朝の「戦後」を考える —

労働運動センター — 「〇四年春闘交流会」のご案内 —

障害者を中心に手作りフォーラムを開催

太田 耕造

— 「障害者の就労・自立」を目指して —  
読者からのおたより

No. 892 (二〇〇四年二月一日)

◇巻頭言◇ ああ、増税！

滝野 忠

黒を白というブツシュの妄想 — 米大統領の「一般教書演説」から(上) —

日本共産党の新綱領と共同戦線

原 野人

議会制民主主義とはなにか

ふるい組合と新しい組合 — 再び労働組合強化の戦略戦術について(下) —

◇投稿◇ 八八八号突破を祝って

花井 吉宅

読者からのおたより

No. 893 (二〇〇四年二月二一日)

◇巻頭言◇ 労組本来の闘う年に

いつかは自分の職場でも！

小口 健一

— 「韓国労働運動に学ぶ青年の旅」から —

高坂 勇三

国労本部は早急に全国大会を

採用差別事件の勝利解決をめざす行動提起(骨子)

国鉄闘争の現状打開

赤峰 正俊

「雪まつりから撤収も」と自衛隊幹部

佐野 周二

— 自衛隊のイラク派兵に反対！ 1・31十勝総決起集会 —

ふえつづける財政赤字 — 米大統領の「予算教書演説」から —

読者からのおたより

No. 894 (二〇〇四年三月一日)

◇巻頭言◇ 国労闘争団も「ネップ魂」でがんばれ

— インターハイで音威子府美高が全国制覇 —

ああ、増税！ — 「かれん誅求」の時代がやってきた —

やったア！ 住民投票で合併拒否 — 町村合併反対運動の総括 — 羽川 健治

創業者利得 — 新生銀行十億円が二千二百億円に —

日本経団連の通信簿 — 「先生」と生徒 —

自衛隊のイラク派兵 そして、どうなる？

佐野 周二

— 基地の町・北海道からの報告 —

読者からのおたより

No. 895 (二〇〇四年三月一日)

◇巻頭言◇ 諫早干拓の闘いを自治体運動に発展させよう  
カリブ海諸国での「反乱」  
戦争は逆算して準備する

谷口 良隆  
伊勢 太郎  
藤原 了

― 改憲国民投票と市町村合併 (二) ―  
憲法九条を守ろう  
車いす使用者からのメッセージ  
「人権」―もつと掘り下げ考えよう  
― つくば市の「のりのりバス」乗り込み奮闘記―  
読者からのおたより

河合 国広  
今福 義明  
滝野 嘉津子

No. 896 (二〇〇四年三月二一日)

◇巻頭言◇ イラク戦争反対の声、今高く  
米軍看護士の手記から  
ILO勧告の実態 ― 「中間報告」と「第二次勧告」―  
自分をつくりなおす  
― 改憲国民投票と市町村合併 (二) ―  
本当によいのか 人事制度改革  
質問

笹山 久三  
編集部  
藤原 了

再び、「人権」「環境」を考える  
― つくば市の「のりのりバス」乗り込み顛末記―  
読者からのおたより

滝野嘉津子

No. 897 (二〇〇四年四月一日)

◇巻頭言◇ みんなの力で四・一三集会成功を  
「いざ鎌倉」の心意気で  
○四年「春闘」への基本視点  
祝・郵政全労協・郵政労働者香川県支部発足  
前途は多難

滝野 忠

― 第二回六ヶ国協議をめぐって―  
クーデターは失敗？  
― ハイチ政変―その後―  
JR新宿駅にエレベーター七台設置決まる  
― 利用者・障害当事者参画で安全・快適・利便な駅に―  
低下する信頼、しかし必要  
― 労働組合意識調査から―  
読者からのおたより

編集部  
赤峰 正俊  
伊勢 太郎

滝野 嘉津子

No.898 (二〇〇四年四月一日)

NTT・東京の会

◇巻頭言◇ 企業年金の大幅減額！

―国内最高益、給付減額に根拠なし―  
「春闘」の次の対象は憲法改悪

編集部

―憲法問題と労働組合―

伊勢 太郎

大政翼賛政治に風穴を

◇資料◇ 参院選でイラク派兵反対、憲法生かす共同候補を  
朝日がサンサン、おやすみなさい

―新深夜勤導入で生活は―  
窮地に立つブッシュ

―スペイン総選挙から―  
バルセロナ、三〇万人が街頭にあふれる  
イラクに派遣される自衛隊に

芳川 廣一

―劣化ウラン弾による被爆の危険―  
野沢法務大臣の辞任を要求します  
読者からのおたより

No.899 (二〇〇四年四月二一日)

澁谷 和美

◇巻頭言◇ 我が子を見て、言葉聞いて

早期解決に何が最善の策なのか  
山形県ではじめての地域ユニオン発足  
支払い能力論に屈服

編集部

―四春闘―総括と課題―

◇資料◇ JC第八回戦術委員会確認事項(四月二日)

生活安定、総合労働条件改善に成果  
障害者・高齢者等、当事者参画が要

―JR新宿駅・ホームのエレベーター設置で―  
反米闘争が全土に拡大

伊勢 太郎

―激動するイラク情勢―

『好著紹介』増田都子著『教育を破壊するものは誰だ』  
悪臭放つ『反動牙』と不転に闘った『抵抗の碑』

花井 吉宅

『二十四の瞳』よりも、はるかに美しい抵抗の記録

弾劾裁判勝利を目指す増田さんの本の出版を祝う会

「なにを食べたらいいのか」

西垣 勲

―アメリカのBSE(牛海綿状脳症)問題から考える―  
読者からのおたより

編集部だより

No. 900 (二〇〇四年五月一・二日合併号)

◇巻頭言◇ 被告小泉純一郎は「憲法違反」

労働者の大多数は「春討」の枠外

— 〇四春闘総括の視点 何がとわれているのか —

四・一三集会に三千五百人

— 飛躍への土台はできた! —

国家、そして憲法改悪(一)

戦争とは何かを考える — 平和を訴える —

韓国総選挙で民主労働党が議席

元気の出る集会になった!

— 兵庫から労働組合を作りなおす —

兵庫の「労働者大会」へ

— 労働運動をめぐる情勢と課題 —

読者からのおたより 誌代値上げのお願い

三・一三集会「基調」

滝野 忠

橘 幸英

編集部

北条 一夫

武庫川ユニオン

No. 901 (二〇〇四年五月二一日)

◇巻頭言◇ 福田官房長官の辞任と政局

アメリカ大統領選のゆくえ

ジャーナリストに自覚を問う

— 校長先生の自死、差別と教育問題 —

小泉、石原とその憲法観

— 国家、そして憲法改悪(二) —

ストライキで闘いぬいた! — 関東私鉄三組合 —

◇資料◇ 闘争宣言(相模鉄道労働組合)

巨大ジャーナリズムの憲法観

読者からのおたより

羽川 健治

編集部

No. 902 (二〇〇四年六月一日)

◇巻頭言◇ 「郵政労働者ユニオン」結成しました

国家主義による国民統合 — なぜ今、裁判員制度なのか —

郵政民営化を解くキーワード — 自己批判をこめて —

テロに打ち勝つ平和運動

— スペイン「革命」断章 —

大牟田労災病院廃止

— 怒りの座り込み抗議(二四〇名) —

〃構造改革〃という反革命

— 現代ファシズム考 —

読者からのおたより

須藤 行彦

前田 純一

J・マシア

三池CO

六津 五郎

No. 903 (二〇〇四年六月一日)

◇巻頭言◇ おめでとう「日刊乗務」一万号  
日朝国交回復への道

滝野 忠

—らち問題と六ヶ国協議—

一・二・一五「上告棄却決定」と鉄建公団訴訟の闘いの強化について  
理由のない結論ありきの逆転判決

木山 誠二

—クビきり自由を後押しする最高裁—

須藤 伸

郵政民営化反対で全通・全郵政共同歩調

交運四単産合同 “破綻”

花井 吉宅

日本文化の深層にふれる

—みちのく歴史ミステリーの旅—

読者からのおたより

No. 904 (二〇〇四年六月二一日)

◇巻頭言◇ 原和美さん勝利で「護憲勢力ここにあり！」を

9プラス25 改憲阻止市民の会

労働組合大会が始まる —連合中央委員会から—  
飛躍の翼を身に付けた労働運動の課題

李 元甫

—韓国労働運動と民主労働党—

サマワ帰還米兵の劣化ウラン被曝の事実！

イラク戦争劣化ウラン情報 No. 15

菊池 憲之

日本経団連も「改憲」論議へ

—改憲の動きとわれわれの運動—

読者からのおたより

No. 905 (二〇〇四年七月一日)

◇巻頭言◇ 日本の「歴史、伝統、文化」

滝野 忠

国の基本問題検討委を提起 —日本経団連第三回総会から—

鉄建公団訴訟の論点整理と

木山 誠二

全税関の国家賠償訴訟の闘いから学ぶもの

支払い能力論に屈服

労働組合大会のはじまりにあたって—

誌代値上げ(二〇〇四年八月から)のお願い

編集部

EU拡大と世界の政治・経済

大阪で、加藤・岡田面弁護士招いて国鉄闘争シンポ

読者からのおたより

No. 906 (二〇〇四年七月一日)

◇巻頭言◇ 前門の虎、後門の狼 — 参院選へ点描 —  
激動する国際情勢

伊勢 太郎

— 第三十回サミットの特徴について —  
職場からの闘い、そして内外の交流運動 京成労組乗務分会

— 第三次電車支部人減らし合理化・二〇〇四年春闘総括 —

◇資料◇連合(二〇〇四・六・一) 〇二〇〇四年春季生活闘争の中間まとめ

年を追うごとに、政党や国会議員、  
大手商業新聞が、「憲法を変えろ！」と攻撃

読者からのおたより

No. 907 (二〇〇四年七月二一日)

◇巻頭言◇ 拡大する「テロ」の嵐  
イラク戦争と自衛隊

伊勢 太郎

日本社会党の失敗が韓国の進歩政治に与える意味

羽川 健治

違法残業、長時間労働が深刻化

権 スンミ

— 全国一斉残業・賃金・リストラ一〇番の結果について —  
ウオーツ!

日本労働弁護団

— 東京高裁で完全勝利判決 —

◇投稿◇ 差別意識改めて

辻中 明夫

読者からのおたより

編集部だより

No. 908 (二〇〇四年八月一日)

◇巻頭言◇ 国労本部は新たな訴訟、統制処分撤回を  
「一歩前進」、しかしこれから

木山 誠二

— 第三回六ヶ国協議の結果と課題

競争、競争を組織する労働組合

— 〇四年労働組合大会から(上) —

— 資料 〇四年春季生活闘争中小共闘のまとめ(連合)

III まとめと課題

己の肩に頭をのせて

— 地域の戦略・戦術をどうする? 地域ユニオン運動

伊勢 太郎

総保守は「二大政党制」を希求

— 参院選総括の基本視点 —

◇投稿◇護憲勢力は真に反省し連帯・共闘する時!

— 参院選挙と沖繩勝利から —

進歩のない教育研究会と論議

六津五郎

読者からのおたより

No. 909 (二〇〇四年八月一一・二二日合併号)

◇巻頭言◇ 米国大統領選、イラクと朝鮮半島

加速する改憲へ真剣な総括を

— 兵庫「9プラス25」からの報告 —

組織問題が焦点に — JR三労組組合大会から(中) —

資料1 国労闘争団アピール — JR不採用事件の早期解決を目指して

三六闘争団の「団結と統一」を強めていきます

資料2 国労闘争団全国連絡会議(二〇〇四年六月) — 国労闘争団が求める解決要求

原告七名の首切り撤回の勝利判決 — 六・三〇東京高裁判決 — 名古屋 哲一

三悪都議、犯罪都教委と闘う 増田 都子

私は「改憲論者」と経団連会長 — 労資の参院選総括から —

プロ野球選手会は労働組合か

◇投稿◇ 自・公・民にだまされたらあかん!

参議院選結 y から

読者からのおたより

山下 けいき

No. 910 (二〇〇四年九月一日)

◇巻頭言◇ — 「読売新聞」不買運動!

三六闘争団の要求を桂に鉄建公団訴訟の決断を!

— 国労第七二回大会の課題 —

闘いを放棄し「環境・条件整備」で組合員をもてあそぶな!

— 国労全国大会方針批判 —

◇〇〇四年労働組合大会から(下) ◇ — 労資はパートナー? —

合併反対運動をかく闘った

— 市町村合併反対運動報告 —

自治労松伏町職員組合

木山 誠一

No. 911 (二〇〇四年九月一日)

◇巻頭言◇ 国鉄分割・民営化と郵政民営化

渡辺修孝が観た本当のイラク

— 二〇〇四平和まつり・天理にて —

来場者は二千人にも — 二二回目の「原爆展」「平和展」 —

外部エンジン論(再編) — 参議院選挙結果と私たちの課題 —

抑制、管理された大会 — 国労大会の報告 —

有明海異変は諫早干拓に原因

— 画期的な差し止め命令 —

教師も地域ユニオンに誘い込む — 「人生の宝もの」と教育 —

読者からのおたより

滝野 忠

稲葉 耕一

高橋 繁

谷口良隆

六津 五郎

編集部だより

No. 912 (二〇〇四年九月二一日)

◇巻頭言◇ まともな労働組合はまともな労働者意識から

鉄建公団訴訟を否定し、国土交通省・鉄道局に忠実

— 国労全国大会報告 —

社会保障と憲法

徹底した競争賃金化

— 「郵政現場」の給与制度改革 —

地域ユニオンは発展する

労働運動再生への努力に不可欠な書

— 武庫川ユニオン『ユニオン運動の発展のために』のすすめ —

なにごめざされなければならぬのか

— 〇四年参院選総括のために —

読者からのおたより

編集部だより

須藤 伸

木山 誠二

原 義弘

滝野 忠

松枝 佳宏

No. 913 (二〇〇四年一〇月一一日)

◇巻頭言◇ 読書の秋

九・一一同時テロから三年 — 今、世界は —

〇四年組合大会から (一) 私鉄、全国一般、自治労大会

◇資料 二〇〇四人事院勧告 (要旨) 給与構造の基本的見直し

イラクめぐり「激突」 — 金、スキャンダル合戦の米大統領選 —

憲法九条を世界に輝かせたい — 「九条の会」アピール —

郵政民営化とプロ野球ストライキ

読者からのおたより

編集部だより

滝野 忠

伊勢 太郎

松尾 眞

No. 914 (二〇〇四年一〇月二一日)

◇巻頭言◇ マルチン・ニーメラ — 牧師の告白

「日の丸・君が代」被処分者の方々へ

「人間力」で継続 — 「日刊乗務一万号記念集会」から —

◇資料と解説◇ 国労本部、原告団への生活資金凍結「解除」?

◇資料◇ 国労本部 二〇〇四年九月一六日

一部の闘争団員に対する生活援助金の凍結解除について

国労団結まつり開催 (十月十一日)

J C労働運動の現状 〇四年組合大会から (二)

郵政ユニオン結成

資料 結成宣言 (郵政労働者ユニオン、〇四年六月六日)

「社会的な労働運動」を追求

◇スポーツ随想◇ サッカー・ジーコ代表監督評価と日本的経営

読者からのおたより

編集部だより

野上 昭

No. 915 (二〇〇四年一〇月二一日)

◇巻頭言◇ 共産党「指定文献」制廃止 — 読書の秋・再論

滝野 忠

プロ野球の政治・経済学

伊勢 太郎

一日三時間の介助では生命維持も不可

里内 龍史

— 障害者が地域で当たり前に生きられなくなる介護保険障害者適用に反対しよう！

反戦・反基地・護憲・平和運動の再生を

中村 平治

— 第二五回全国地区労交流会「沖縄集会」から —

自らの手で展望を切り拓こう

田原 博

— N関労結成から二年 —

憲法とは権利の章典なり

編集部

— 国家、そして憲法改悪・再論 —

読者からのおたより

編集部だより

No. 916 (二〇〇四年一月一日)

◇巻頭言◇ 職人と労組専従者

赤峰 正俊

戦争は無知と貧困の上に成立する

— 『華氏九一一』を観て —

現状打破への対抗攻略

藤原 了

— コペルニクスの苦惱 —

労働組合が直面する基本問題

— 〇四年組合大会の総括(上) —

秋から年内・裁判をつつむ大衆行動に全力投球

佐久間 誠

すすむ独占資本の集中と合併

— 日本の銀行は三大グループ体制に —

読者からのおたより

編集部だより

No. 917 (二〇〇四年一月二一日)

◇巻頭言◇ 「過去の歴史に学び、未来を見据えること

福西 由紀子

— 神戸・南京を結ぶ会 第7次訪中団に参加して —

小選挙区割は敵のアキレス腱

藤原 了

— 現状打破への対抗戦略(中) —

新潟・中越地震

小林 義昭

— 小林義昭・新潟市議駆け歩き —

いのち・人権・平和の交流誌 — 「生きる」(第九号 日本とアジア) のすすめ —

正規労働者は事実上少数になった — 労働組合が直面する基本問題 —

読者からのおたより

編集部だより

No. 918 (二〇〇四年一月二日)

◇巻頭言◇ 衆院で三分一勢力をめざす — 私の対抗戦略(下) —  
交通バリアフリーは社会参加の基本

— 「JR新宿駅の安全とバリアフリーを考える会」で学んだもの —  
アメリカの強み(II地方自治)に揺さぶられるブッシュ

— アメリカ大統領選挙結果・直後の感想 —

日本労働運動の命運をにぎる — 鉄建公団訴訟闘争に全力支援を —

「これが反合闘争といえるのか」の悩みの中で

— 赤峰さんの巻頭言から —

「こんなことになるなら地震前に死んどけばよかった」

— 新潟県中越地震被災地に救援物資を届ける —

読者からのおたより

編集部だより

藤原 了

滝野 嘉津子

神戸 育郎

北畠 清仁

稲村 守

No. 919 (二〇〇四年二月一日)

◇巻頭言◇ — 地獄—酒とまつり

ファルージャヤ大虐殺 — 歴史に残るブッシュの蛮行 —

大地震の教訓はどこへ

— 神戸から新潟・全国へ —

流動化するJR労働戦線 — JR東会社に新組合 —

◇資料◇ ジェイアール東日本労働組合(〇四年十一月六日)

【第1号議案】二〇〇四年度運動方針

北海道十勝に「ユニオンとかち」結成

◇資料◇とかち民労協

地域労働運動の強化へ、十勝民労協の役割と方向(要旨)

原発と自衛隊

読者からのおたより

編集部だより

原 野人

No. 920 (二〇〇四年二月二日)

◇巻頭言◇ 正念場の国鉄闘争 — 解決めざし悔いなき闘いを!

金児 順一

「双子」の赤字はどうなる — ブッシュ再選と世界 —

◇資料◇と解説◇

春闘五十年 — 春闘はどうなる — 連合「〇五年春季生活闘争方針」から — 編集部

◇資料◇ 連合(二〇〇四年・一一・二五) — 二〇〇五春季生活闘争方針(上)

かれん誅求の時代の始まり

「桃太郎」の政治経済学

地域に根ざす「おといねっぷ味噌」 — 買って拵げて

教育現場の危機、「児童・生徒の安全を守る」取り組み

蓑輪 泰臣

— 学校現場に日教組が見えない —

読者からのおたより

編集部だより

No. 921 (二〇〇四年二月二日)

◇巻頭言◇「これは「革命」だ

滝野 忠

―ウクライナ情勢について―

国連はどう改革されなければならないか

伊勢 太郎

越谷局に適用された「トヨタ方式」|| JPSの問題点

資料 連合(二〇〇四・一・二五)

二〇〇五春季生活闘争方針(要旨・下)

炭労解散

―真の安全保障政策とは―

国労闘争団九名が鉄道運輸機構を提訴

―第二次裁判始まる―

「グローバル・ユニオン」志向

―国際自由労連世界大会(宮崎)の焦点―

読者からのおたより